

生活行動援助技術	1 年・後期	2 単位	教授 及川 秀子 助教 松崎 圭子 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110572

1. 授業のねらい・概要

看護実践能力の基礎となる人間の生活行動と看護について学習し、援助ニーズを充足する基本的な技術の習得を目的とする。また、人間の生活行動における共通性と個別性を理解し、よりよい援助について考える機会とする。

2. 到達目標

1. 人間の生活行動における生理的・社会・心理的側面が理解できる。
2. 生活行動援助技術の根拠を理解し、対象者に援助を実施することができる。
3. 援助を受ける人の身体的・心理的反応を体験することにより、対象への理解が深まる。
4. 実施した援助を振り返り、援助提供者としての課題を明らかにすることができる。
5. 看護提供者としての身だしなみ・態度・言葉遣いについて考え、実践することができる。

3. 授業の進め方

講義、デモンストレーション、演習の形式で進めるが、グループ発表や学生によるデモンストレーションなど参加型学習を取り入れる。演習は数名の学生で編成したグループ単位で行い、交互に患者・看護者・観察者を体験後、話し合いと振り返りレポート作成により学びを共有する。

4. 授業計画

1. ガイダンス、口腔ケアの実際(及川秀子)	16. 手浴・足浴(及川)
2. 口腔ケアに関する基礎知識(松崎圭子)	17. 入浴・シャワー浴の援助(松崎)
3. 衣生活の援助(及川)	18. 陰部洗浄の基礎知識(松崎)
4. 寝衣交換(及川)	19. 実技試験(松崎・及川)
5. 全身清拭に関する基礎知識(松崎)	20. 実技試験(松崎・及川)
6. 身体の清潔(松崎)	21. 実技試験・講評(松崎・及川)
7. 全身清拭①(松崎)	22. 陰部洗浄(松崎)
8. 清拭方法の根拠について(及川)	23. ケアを受ける患者の心理(及川)
9. 実技試験オリエンテーション(松崎・及川)	24. 排泄の援助に関する基礎知識(及川)
10. 全身清拭②(松崎)	25. 排泄介助(及川)
11. 実技試験課題の読み取り(及川)	26. オムツの機能と実際(松崎)
12. 洗髪に関する基礎知識(松崎)	27. 食生活の援助(松崎)
13. 洗髪介助(松崎)	28. 食事介助(松崎)
14. 清潔習慣の個別性と共通性(及川)	29. 経静脈栄養法・経腸栄養法(及川)
15. 手浴・足浴の基礎知識(及川)	30. 食事介助の基礎知識・まとめ(及川)

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 50%, 実技試験 20%, 提出物 20%, 身だしなみ・態度 10%により総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

- ・有田清子他, 系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院
- ・吉田みつ子他, 写真でわかる基礎看護技術 アドバンス, インターメディカ

7. 準備学習に必要な時間, 又はそれに準じる程度の具体的な内容

授業計画の範囲について最低1時間の予習と授業内容の復習を行うこと。また、実践可能な水準の技術習得のため授業時間外での自主練習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

受け持ち看護実習の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバック

提出物は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求めることもあ

る。実技試験の結果は実施後に口頭で伝達する。試験については実施の際に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合は進級不可となる。